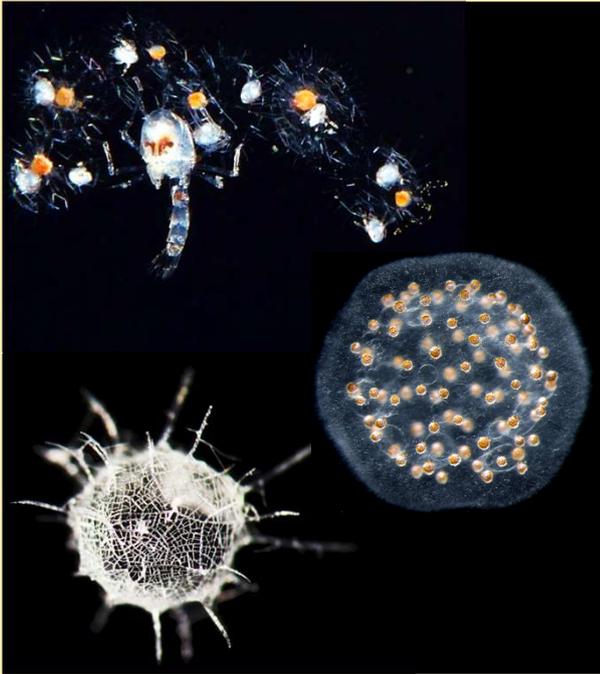


令和5年度 島根大学総合科学研究支援センター公開講演会
島根の科学—おもしろい科学の話—

DNAメタバーコーディングで プランクトンの 生物間相互作用を紐解く！



講師 仲村 康秀 博士
島根大学エスチュアリー研究センター

日時
令和6年 2月19日(月)
16:00–17:00

方法 Zoomによる
オンライン開催

定員100名
参加無料

こちらからお申込みください→
<https://www.leaf2.shimane-u.ac.jp/enquete/no/geneseinar273>



「プランクトン」と言うと、目に見えない、数も少ない、小さな生き物？クジラのエサ？あまり私たちの生活と関係ない？...というような印象があるかもしれませんが、実はプランクトンには沢山の種類があり、さらに海や湖では、魚やエビ、カニ、イカなどより数と量が多い生物なのです。プランクトンは魚介類のエサとして水の中の生態系を底辺から支えており、プランクトンがいなければ今の地球環境は無いと言っても過言ではありません。しかし、そのようなプランクトンに関して、何を食べているのか？他の生物とどのように共生しているのか？などについては、よくわかっていない事が沢山あります。今回の講演会では、DNAメタバーコーディングや水中カメラなどの新しい技術を用いて、海や湖にいるイサザアミ類や放散虫類など、様々なプランクトンの生物間相互作用（被食捕食関係と共生関係）を解明する研究をご紹介します。

共開催：第273回 遺伝子機能解析部門セミナー

主催・お問い合わせ：島根大学総合科学研究支援センター・遺伝子機能解析部門

E-mail identshi@life.shimane-u.ac.jp Tel 0852-32-6595